

新規事業等実施に伴う説明シート

事務事業名	起業家支援プロジェクト事業	整理番号	538		
		担当部・課	産業経済部 産業政策課		
事業期間	単年度・ <b>複数年</b>	事業区分	<b>新規</b> ・拡充		
	平成26年度～平成28年度・終期未定		政策・義務・ <b>新規</b> ・投資・一般		

(1) 事業の概要・全体計画等

①目的	若者や女性、シニア層による起業・創業を支援することで、新たな働き場の創出を図るとともに、地域資源の活用や地域課題を解決する手法を学び実践に繋げていくことで地域活性化に寄与する。
②背景	人口の減少に伴い、事業所数・従業員数も減少傾向にある。 【事業所数】 H21:3,612 H24:3,357 (H21-H24) △255事業所 【従業員数】 H21:27,506 H24:26,524 (H21-H24) △982人 経済センサス(平成21年、平成24年)
③効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・起業のためのノウハウを学ぶことで新たな働き場を創出する</li> <li>・民発信の地域資源の有効活用や地域課題の解決に向けた取組み</li> <li>・新たな視点を持つ若者や女性、知識・経験が豊富なシニア層の起業により、地域活性化の機運醸成</li> </ul>
④内容	○「起業家セミナー」の開催 起業に必要な知識を学ぶセミナーを開催し、起業のためのイロハを学ぶことはもちろんのこと、地域資源の活用や地域の課題解決型ビジネス(コミュニティビジネス)による起業事例も参考にし、創業に向けた事業計画・資金計画等の作成を支援する。
⑤その他	<p>&lt;起業家教育&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○起業家セミナーの開催 <ul style="list-style-type: none"> <li>・「女性向け」と「一般向け(若者・シニア含む)」の2コースを開催</li> <li>・各5回(うち1回は市長が講師を務める)</li> </ul> </li> <li>○産業競争力強化法による地域における創業支援について関係機関協議、検討 <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域(認定市と認定創業支援事業者)における創業支援(特定創業支援事業)の実施</li> <li>・具体的には、ビジネススキル研修。創業者は、特定創業支援事業を一定回数以上受けることで、国からの支援も受けることが可能となる。</li> </ul> </li> </ul>

(2) 他の地方公共団体の類似する政策との比較検討

--

(3) 提案に至る過程における市民参加の実施の有無とその内容

市民参加の実施 (有・ <b>無</b> )
------------------------

(4) 総合振興計画との整合性

総合振興計画上の位置づけ	リーディングプランの該当	<b>あり</b>	4.地域の資源を活かした産業の振興
	まちづくりの大綱	なし	
	施策大綱	IV.地域資源を活かした産業を創造するまち(産業・経済部門)	
		6.企業誘致や新産業による雇用の促進	

(5) 財源措置・将来にわたるコスト計算

単位:千円

財源内訳		全体計画	26年度	27年度	28年度以降
		事業費	10,737	3,579	3,579
財源内訳	国県支出金	0	0	0	0
	地方債(債)	0	0	0	0
	その他( )	0	0	0	0
	一般財源	10,737	3,579	3,579	3,579

新規事業等実施に伴う説明シート

事務事業名	広島開拓特別プロジェクトチーム運営事業	整理番号	539		
		担当部・課	産業経済部 産業政策課		
事業期間	単年度・ <b>複数年度</b>	事業区分	<b>新規</b> ・拡充		
	平成26年度～平成 年度・ <b>終期未定</b>		政策・義務・ <b>新規</b> 投資・一般		

(1)事業の概要・全体計画等

①目的	浜田産品の販路拡大や交流人口の増加、企業誘致を行う上で、浜田からわずか1時間30分でアクセスできる広島を最大のターゲットとし、山陽方面への積極的なアプローチを進めていくために、特別プロジェクトチームを組織する。
②背景	他の多くの地方都市と同様に、浜田市においても、人口の減少が進み、産業が停滞して、閉塞感が漂っている。この状況を打ち破り、元気な浜田をつくるための総合的な政策の一つとして、産業振興、企業誘致などによる雇用の場を確保する政策に取り組む必要がある。
③効果	浜田産品の販路拡大や、豊富な地域資源等を活用しての浜田への来訪者や交流人口の増加につながる施策を実行することによる外貨の獲得、企業誘致による浜田市内での働き場の確保が期待できる。
④内容	山陽地区企業に関する情報収集をはじめ、浜田産品の販路開拓、浜田港ポートセールス、企業誘致活動などを行う。
⑤その他	特別プロジェクトチームを組織し、山陽方面への積極的なアプローチを進めていくための運営経費。 ○山陽方面の企業事情に詳しい嘱託職員の配置。 ○特別プロジェクトチームの拠点となる事務所を広島市内に設置。 ○「浜田港の利活用」「浜田産品の販路拡大」「企業誘致」を目的とした山陽方面の企業への訪問を行うため、浜田の魅力に記載したパンフレットを作成。 ○職員宿舍の借上。

(2)他の地方公共団体の類似する政策との比較検討

--

(3)提案に至る過程における市民参加の実施の有無とその内容

市民参加の実施 (有・ <b>無</b> )
------------------------

(4)総合振興計画との整合性

総合振興計画上の位置づけ	リーディングプランの該当	<b>あり</b> なし	4.地域の資源を活かした産業の振興
	まちづくりの大綱	IV.地域資源を活かした産業を創造するまち(産業・経済部門)	
	施策大綱	6.企業誘致や新産業による雇用の促進	

(5)財源措置・将来にわたるコスト計算

単位:千円

財源内訳		全体計画	26年度	27年度	28年度以降
		事業費	未定	30,596	26,954
財源内訳	国県支出金		0	0	
	地方債( 債)		0	0	
	その他( )		0	0	
	一般財源		30,596	26,954	

新規事業等実施に伴う説明シート

事務事業名	一次加工協業化推進事業	整理番号	540
		担当部・課	産業経済部 産業政策課
事業期間	単年度・ <b>複数年度</b>	事業区分	<b>新規</b> ・拡充
	平成26年度～平成 年度・ <b>終期未定</b>		政策・義務・ <b>新規</b> 投資・一般

(1)事業の概要・全体計画等

①目的	浜田市が食品加工のまちを目指すため、水産加工業の協業化により、衛生管理の行き届いた加工施設整備を推進する。
②背景	食品衛生・安全、安定供給が重要視される中、事業規模が比較的小さな企業が多い当市においては、衛生管理等の新たな投資が難しい状況にある。
③効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>最新の衛生管理を整え、国際規格認証等を取得することで、企業の大幅な販路拡大に寄与できる。</li> <li>協業化により安定供給も可能となる。</li> </ul>
④内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>各関係機関組織を設立し、全国の先進地へ視察を実施する。</li> <li>地元企業へのヒヤリングを実施し、協業化を促す。</li> <li>現状分析調査、協業化実施策の検討。</li> </ul>
⑤その他	ISOなど国際規格認証取得【しまね産業振興財団 補助率1/2 上限100万円】を促し、あわせて商品力を高めるための専門家派遣、バイヤーを招聘し視察するなど様々な支援を実施する。

(2)他の地方公共団体の類似する政策との比較検討

--

(3)提案に至る過程における市民参加の実施の有無とその内容

市民参加の実施 (有・ <b>無</b> )
------------------------

(4)総合振興計画との整合性

総合振興計画上の位置づけ	リーディングプランの該当	<b>あり</b> なし	4.地域の資源を活かした産業の振興
	まちづくりの大綱	<b>IV.地域資源を活かした産業を創造するまち(産業・経済部門)</b>	
	施策大綱	<b>2.活力ある商工業の振興</b>	

(5)財源措置・将来にわたるコスト計算

単位:千円

財源内訳		全体計画	26年度	27年度	28年度以降
		事業費	未定	7,505	未定
財源内訳	国県支出金		0		
	地方債( 債)		0		
	その他( )		0		
	一般財源		7,505		

# 新規事業等実施に伴う説明シート

事務事業名	<b>商品リスト作成事業</b>	整理番号	<b>541</b>
		担当部・課	産業経済部 産業政策課
事業期間	単年度・ <b>複数年</b>	事業区分	<b>新規</b> ・拡充
	平成26年度～平成 年度 <b>終期未定</b>		政策・義務・ <b>新規</b> 投資・一般

## (1) 事業の概要・全体計画等

①目的	県内外のバイヤー等に浜田企業の商品をPRすることにより、市内企業の販路拡大と売上増加を図る。
②背景	企業の販路拡大支援として市内企業の商品をPRするため、しまね浜田の商品リストを発刊し、現在、ウェブサイトを構築している。
③効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・販路拡大希望の企業が把握できる。</li> <li>・市内企業の販路拡大と売上増加となる。</li> <li>・広島開拓特別プロジェクトチームが企業訪問する際の資料として使用する。</li> </ul>
④内容	バイヤー向けに市内企業の販路拡大希望商品を掲載した「しまね浜田の商品リスト」を発刊する。商品写真、商品のこだわり、原材料、消費期限、受注方法などバイヤー目線での内容とし、毎年1000部の発刊を目標とする。
⑤その他	<p>しまね浜田の商品リスト2013の発刊実績</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 掲載企業数 101社(昨年77社) うち、食品関係82社 民芸品19社</li> <li>2 掲載商品数 280商品(昨年206商品)</li> <li>3 発刊部数 本編 750部、ダイジェスト版2500部</li> <li>4 印刷経費 2,391,375円(緊急雇用創出臨時特例基金事業)</li> <li>5 配布先 掲載企業、市内小売店、飲食店・ホテル、県外バイヤー 浜田商工会議所、石中央商工会、島根県・支援団体 等</li> <li>6 その他 「アグリEXPO2013」「ビジネスフェア中四国2014」 県内商談会等にて配布。</li> </ol>  <p>しまね浜田の商品リストウェブサイトの開設</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 掲載企業数 104社 うち、食品関係84社 民芸品20社</li> <li>2 掲載商品数 296商品</li> <li>3 開設日 平成25年10月1日</li> <li>4 開設経費 262,500円(緊急雇用創出臨時特例基金事業)</li> <li>5 周知方法 バイヤーにはパスワードを付与し、ログインし閲覧する方法とし、閲覧方法を記載したプラスチックカードを渡す予定。(作成中) 人気商品や地域など把握出来るよう、解析ソフトを導入した。</li> </ol> 

## (2) 他の地方公共団体の類似する政策との比較検討

--	--

## (3) 提案に至る過程における市民参加の実施の有無とその内容

市民参加の実施 (有・ <b>無</b> )	
------------------------	--

## (4) 総合振興計画との整合性

総合振興計画上の位置づけ	リーディングプランの該当	<b>あり</b>	4.地域の資源を活かした産業の振興	
		なし		
	まちづくりの大綱	<b>IV.地域資源を活かした産業を創造するまち(産業・経済部門)</b>		
	施策大綱	<b>2.活力ある商工業の振興</b>		

## (5) 財源措置・将来にわたるコスト計算

単位:千円

		全体計画	26年度	27年度	28年度以降
財源内訳	<b>事業費</b>	未定	4,163	4,163	未定
	国県支出金		0	0	
	地方債( 債 )		0	0	
	その他( )		0	0	
	一般財源		4,163	4,163	

新規事業等実施に伴う説明シート

事務事業名	<b>インキュベーション施設調査事業</b>	整理番号	<b>542</b>
		担当部・課	産業経済部 産業政策課
事業期間	単年度・ <b>複数年度</b> 平成26年度～平成 年度・ <b>終期未定</b>	事業区分	<b>新規</b> ・拡充 政策・義務・ <b>新規</b> 投資・一般

(1)事業の概要・全体計画等

①目的	若者や女性、シニア層による起業・創業を促進するため、インキュベーション施設への入居支援をするとともに、市内の遊休施設(廃校など)の利活用について調査・検討を行う。
②背景	<ul style="list-style-type: none"> <li>人口の減少に伴い、事業所数・従業員数も減少傾向にある。(経済センサス(平成21年、平成24年)より)</li> <li>【事業所数】 H21:3,612 H24:3,357 (H21-H24)△255事業所</li> <li>【従業員数】 H21:27,506 H24:26,524 (H21-H24)△982人</li> <li>開業率が廃業率を大きく下回る。(厚生労働省「雇用保険事業年報(2012)」)</li> <li>【島根県】開業率3.3% 廃業率4.6% 【全国】開業率4.6% 廃業率3.8%</li> </ul>
③効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>事業を開始する際にネックになる拠点を斡旋することで、事業化へスムーズに移行できる。</li> <li>廃校等を活用し、インキュベーション施設を設置することにより、人材誘致の拠点となり、人が人を呼ぶ効果も期待でき、地域活性化にもつながる。</li> </ul>
④内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>インキュベーション施設の設置に向けた調査・検討</li> <li>いわみぶらっと「インキュベーションルーム」入居費助成</li> </ul>
⑤その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>○インキュベーション施設の設置に向けた調査・検討                             <ul style="list-style-type: none"> <li>先行事例視察やインキュベーション・SOHO経営の民間企業者より聞き取り等を実施。</li> <li>廃校利用の適地調査など</li> </ul> </li> <li>○いわみぶらっと「インキュベーションルーム」入居費助成                             <ul style="list-style-type: none"> <li>シェアードタイプ                                     <ul style="list-style-type: none"> <li>1人用(3.3平方メートル)×6ブース</li> <li>2人用(4.8平方メートル)×2ブース</li> </ul> </li> <li>入居期間                                     <ul style="list-style-type: none"> <li>入居日から1年以内(2年以内の延長可)</li> </ul> </li> </ul> </li> </ul>



1人用ブース



2人用ブース

(2)他の地方公共団体の類似する政策との比較検討

--

(3)提案に至る過程における市民参加の実施の有無とその内容

市民参加の実施 (有・ <b>無</b> )
------------------------

(4)総合振興計画との整合性

総合振興計画上の位置づけ	リーディングプランの該当	<b>あり</b> なし	4.地域の資源を活かした産業の振興
	まちづくりの大綱		<b>IV.地域資源を活かした産業を創造するまち(産業・経済部門)</b>
	施策大綱		<b>6.企業誘致や新産業による雇用の促進</b>

(5)財源措置・将来にわたるコスト計算

単位:千円

	全体計画	26年度	27年度	28年度以降
事業費	未定	1,029	未定	未定
財源内訳				
国県支出金		0		
地方債( 債)		0		
その他( )		0		
一般財源		1,029		

新規事業等実施に伴う説明シート

事務事業名	石見神楽定期公演推進事業	整理番号	576		
		担当部・課	産業経済部 観光振興課		
事業期間	単年度・ <b>複数年度</b>	事業区分	<b>新規</b> ・拡充		
	平成26年度～平成28年度・終期末定		政策・義務・ <b>新規</b> ・投資・一般		

(1) 事業の概要・全体計画等

①目的	石見神楽を浜田市の重要な観光ツールと位置付け定期的な公演を行うことで、宿泊を伴う旅行商品として旅行エージェントによる企画に取り入れてもらうなど、浜田市への観光客増加を目指す。 また、同時に上演団体の伝統継承や収益増による安定上演確保を目指す。
②背景	<ul style="list-style-type: none"> <li>これまでの東京・大阪公演や海外公演などを通じて、石見神楽の認知度も上がってきているが、浜田市内で長期的に上演、集客できる決まった施設が整備されていない。</li> <li>県外でのPR公演も行っているが、浜田市へ見に来ていただけるルートが未整備。</li> <li>上演団体の収益増につながっておらず、伝統継承とともに観光商品化も必要。</li> </ul>
③効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>旅行商品として、旅行エージェントによるツアー企画に取り入れてもらい、魚料理などの食と組み合わせたり、特産品販売などと組み合わせることにより、浜田での外貨獲得に繋げられる。</li> <li>神楽工房見学や浜田の市場での魚介類の購入などのツアーを造成実施することで、浜田市への経済波及効果が期待できる。</li> <li>上演団体の収益が上がることで、衣裳や面の更新など伝統芸能の保存・継承に繋がる。</li> </ul>
④内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>定期的な公演による旅行商品化と旅行エージェントへのプロモーション</li> <li>神楽をツールとした宿泊を伴うツアーの造成</li> </ul>
⑤その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>○石見神楽常設公演化モデル事業の検証                     <ul style="list-style-type: none"> <li>(1)公演運営方法の確立</li> <li>(2)公演運営団体の設立に向けた検討を行う</li> </ul> </li> <li>○石見神楽ファンの拡大                     <ul style="list-style-type: none"> <li>(1)広島県内を中心としたPRを引き続き実施する</li> <li>(2)石見神楽教室の拡大</li> </ul> </li> <li>○石見神楽ツアーの企画造成                     <ul style="list-style-type: none"> <li>(1)神楽面、衣裳、観賞ツアー</li> <li>(2)石見神楽体験ツアーなど</li> </ul> </li> </ul>

(2) 他の地方公共団体の類似する政策との比較検討

--

(3) 提案に至る過程における市民参加の実施の有無とその内容

市民参加の実施（有・ <b>無</b> ）
-----------------------

(4) 総合振興計画との整合性

総合振興計画上の位置づけ	リーディングプランの該当	<b>あり</b>	4.地域の資源を活かした産業の振興
	まちづくりの大綱	なし	
	施策大綱	5.地域資源を活かした観光の振興	

(5) 財源措置・将来にわたるコスト計算

単位:千円

		全体計画	26年度	27年度	28年度以降
財源内訳	事業費	未定	1,943	未定	未定
	国県支出金		0		
	地方債(債)		0		
	その他( )		0		
	一般財源		1,943		

新規事業等実施に伴う説明シート

事務事業名	「ようこそ！浜田」事業	整理番号	577
		担当部・課	産業経済部 観光振興課
事業期間	単年度・ <b>複数年度</b>	事業区分	<b>新規</b> ・拡充
	平成26年度～平成28年度・終期未定		政策・義務・ <b>新規</b> ・投資・一般

(1)事業の概要・全体計画等

①目的	「ようこそ！浜田」のキャッチフレーズのもと、浜田の宝さがしを市民への公募により実施し、今ある観光資源と合わせた観光メニューの開発、モデルツアーを造成するとともに、メディアを積極的に活用して県外に浜田のお宝をPRすることで、宿泊観光客の誘致を図る。
②背景	島根県の観光入込客は、古事記編纂1300年記念イベントや出雲大社の大遷宮の効果を受け、近年増加しているが浜田市を含む石見部は横ばいの状況である。観光客の誘致のため、受け入れ地としてのハード・ソフト両面にわたる基盤整備と県外への積極的な情報発信が課題となっている。
③効果	宿泊を伴う滞在が可能となるゾーンを整備し、観光基盤の底上げを行い、個人旅行者の誘客及び周遊を図る。ゾーン内で観光する旅行者の姿が市民の目に触れることで、おもてなし意識の醸成に繋がる。併せて事業者対象の研修を実施しおもてなしの受入体制を強化する。そののちに、萩・津和野エリアなどとの広域連携に取り組み、広島をメインターゲットとしたバスツアーなど旅行エージェントからの団体客を誘致する。
④内容	市民への公募による「宝さがし」によって掘り起こされた地域に眠る観光資源と今ある観光資源をメニュー化するとともに、案内表示や説明板などを整備し、来訪者にわかりやすく魅力を発信する。賑わいエリアや歴史エリアなどのゾーニングに従い、二次交通としてのレンタサイクルを設置し観光客の周遊と滞在を促進する。旅館業、飲食業及び旅客業者を対象とした研修を実施し、おもてなしの機運の醸成、接客のスキルアップに取り組む。 市のキャッチフレーズ「ようこそ！浜田」の徹底を図り、メディアを積極的に活用して県外に発信することで認知度を高めるとともに、旅行エージェントやライターを対象としたモニターツアーを実施し、観光客の誘致に取り組む。
⑤その他	<p><b>【1年目】</b> 市民への公募による浜田の「宝」さがしの実施、ガイドブック作成 ようこそ！浜田の観光パンフレット作成 観光コンサルタント委託等による観光コースの造成 メディアを活用したプロモーション おもてなし研修会の開催・マニュアル作成</p> <p><b>【2年目】</b> 浜田の「宝」ガイドブック増刷 浜田の「宝」案内板・説明板設置 ようこそ！浜田の観光パンフレット作成 二次交通対策・レンタサイクル導入 メディアを活用したプロモーション エージェントを対象としたモニターツアー実施 募集型モニターツアー商品造成 おもてなし研修会の開催</p> <p><b>【3年目】</b> 浜田の「宝」ガイドブック改訂 浜田の「宝」案内板・説明板設置 ようこそ！浜田の観光パンフレット作成 二次交通対策・レンタサイクル導入 メディアを活用したプロモーション マスメディア、ライターを対象としたモニターツアー おもてなし研修会の開催</p>

(2)他の地方公共団体の類似する政策との比較検討

--

(3)提案に至る過程における市民参加の実施の有無とその内容

市民参加の実施 (有・ <b>無</b> )
------------------------

(4)総合振興計画との整合性

総合振興計画上の位置づけ	リーディングプランの該当	<b>あり</b> なし	4.地域の資源を活かした産業の振興
	まちづくりの大綱	<b>IV.地域資源を活かした産業を創造するまち(産業・経済部門)</b>	
	施策大綱	<b>5.地域資源を活かした観光の振興</b>	

(5)財源措置・将来にわたるコスト計算


単位:千円

	全体計画	26年度	27年度	28年度以降
事業費	51,792	15,904	15,174	20,714
財源内訳				
国県支出金	0	0	0	0
地方債(債)	0	0	0	0
その他( )	0	0	0	0
一般財源	51,792	15,904	15,174	20,714

新規事業等実施に伴う説明シート

事務事業名	空き家調査事業	整理番号	607
		担当部・課	建設部 建築住宅課
事業期間	単年度・複数年度 平成26年度～平成26年度・終期未定	事業区分	新規・拡充 政策・義務・新規・投資・一般

(1)事業の概要・全体計画等

①目的	市内全域の空き家を調査し、関係部局で共有、活用できるデータベース化することで、空き家対策に関する施策の推進を図る。																																																																								
②背景	浜田市では人口減少や高齢化の進展等により、空き家数、空き家率が増大している。空き家の中には、住宅市場に流通していないもの、管理が不十分で周辺に悪影響を及ぼすものなど様々な問題を内在した空き家が含まれている。しかし、どこに、どんな状態の空き家が、どのくらい存在しているのかその実態が把握できていない。																																																																								
③効果	空き家対策は、住宅施策・景観行政、防犯対策、地域づくり等、多岐にわたっている。空き家情報を関係部局で共有し、活用することにより次の効果があると考えられる。 1) どこに、どんな状態の空き家があるかが判明することにより、U・Iターン者の住まい確保等の有効活用につながる。 2) 緊急輸送道路や通学路沿いの危険な空き家の情報を得ることにより、災害の予防・対策に役立つ。 3) 危険な空き家の所在を把握できることにより、指導等の早期対応につながり、市民からの通報に迅速に対応できる。																																																																								
④内容	住宅地図情報会社に業務委託し、空き家の実態把握のためのデータベース等を作成する。																																																																								
⑤その他	<p>【委託業務の期間・内容】</p> <p>▼業務期間 契約締結日翌日から5ヶ月程度</p> <p>▼業務内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・現地調査…地図情報から得られた空き家を調査する。</li> <li>・危険度の判定…外観目視により老朽度、危険度をランク付けし、利用の可能性、危険度の大きさを判定する。</li> <li>・写真撮影…対象となる空き家の近景、遠景を撮影する。</li> <li>・データベースの作成…電子地図上に位置をプロットし、調査情報の入力及び緯度経度情報を取得する。</li> </ul> <p>▼積算根拠 見積りによる</p> <div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="margin-right: 20px;"> <p>どんな物件が⇒画像提供</p> <p>↓</p> <p>どこに⇒住宅地図上にマーキング</p> <p>↓</p> <p>どれだけあるの⇒リスト作成</p> </div>  <div style="margin-left: 20px; border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>老朽度、危険度判定により、 周辺への影響度、活用可能かを評価</p> </div> </div> <table border="1" style="margin-top: 10px; width: 100%;"> <tr><td>1</td><td>山田</td><td>3丁目</td><td>10</td><td>5</td><td>1</td><td>国</td><td>A</td><td>1</td></tr> <tr><td>2</td><td>山田</td><td>3丁目</td><td>10</td><td>5</td><td>1</td><td>国</td><td>B</td><td>2</td></tr> <tr><td>3</td><td>山田</td><td>3丁目</td><td>10</td><td>5</td><td>1</td><td>国</td><td>B</td><td>3</td></tr> <tr><td>4</td><td>山田</td><td>3丁目</td><td>10</td><td>5</td><td>1</td><td>国</td><td>B</td><td>4</td></tr> <tr><td>5</td><td>山田</td><td>3丁目</td><td>10</td><td>5</td><td>1</td><td>国</td><td>C</td><td>5</td></tr> <tr><td>6</td><td>山田</td><td>3丁目</td><td>10</td><td>7</td><td>1</td><td>国</td><td>C</td><td>5</td></tr> <tr><td>7</td><td>山田</td><td>3丁目</td><td>10</td><td>9</td><td>1</td><td>国</td><td>D</td><td>4</td></tr> <tr><td>8</td><td>川田</td><td>3丁目</td><td>10</td><td>10</td><td>1</td><td>国</td><td>F</td><td>3</td></tr> </table>	1	山田	3丁目	10	5	1	国	A	1	2	山田	3丁目	10	5	1	国	B	2	3	山田	3丁目	10	5	1	国	B	3	4	山田	3丁目	10	5	1	国	B	4	5	山田	3丁目	10	5	1	国	C	5	6	山田	3丁目	10	7	1	国	C	5	7	山田	3丁目	10	9	1	国	D	4	8	川田	3丁目	10	10	1	国	F	3
1	山田	3丁目	10	5	1	国	A	1																																																																	
2	山田	3丁目	10	5	1	国	B	2																																																																	
3	山田	3丁目	10	5	1	国	B	3																																																																	
4	山田	3丁目	10	5	1	国	B	4																																																																	
5	山田	3丁目	10	5	1	国	C	5																																																																	
6	山田	3丁目	10	7	1	国	C	5																																																																	
7	山田	3丁目	10	9	1	国	D	4																																																																	
8	川田	3丁目	10	10	1	国	F	3																																																																	

(2)他の地方公共団体の類似する政策との比較検討

岡山県 勝央町 平成25年度 事業費1,000千円 空き家300件  (浜田市の一戸建ての空き家件数は3,000件程度と推察される。)
--

(3)提案に至る過程における市民参加の実施の有無とその内容

市民参加の実施 (有・無)
---------------

(4)総合振興計画との整合性

総合振興計画上の位置づけ	リーディングプランの該当	あり なし	1.安全で安心なまちづくりの推進
	まちづくりの大綱	V.快速で安心して暮らせるにぎわいのあるまち(建設・安全部門)	
	施策大綱	5.安全なまちづくりの推進	

(5)財源措置・将来にわたるコスト計算

		単位:千円			
財源内訳	全体計画	26年度	27年度	28年度以降	
	事業費	5,724	5,724		
	国県支出金	2,862	2,862		
	地方債(債)	0	0		
	その他( )	0	0		
一般財源	2,862	2,862			



新規事業等実施に伴う説明シート

事務事業名	長浜西住宅建設事業	整理番号	703		
		担当部・課	建設部 建築住宅課		
事業期間	単年度・ <b>複数年</b>	事業区分	新規・拡充		
	平成 23年度～平成 26年度・終期未定		<b>政策</b> ・義務・新規・投資・一般		

(1)事業の概要・全体計画等

①目的	健康で文化的な生活を営むに足る住宅を整備し、これを住宅困窮者に低廉な家賃で賃貸することにより、市民生活の安定と社会福祉の増進に寄与する。
②背景	既存の公営住宅のなかで、建物の耐用年数を過ぎた住宅については緊急の建替えが課題となっている。また、少子高齢化の急速な進展、地球環境問題や安全安心に対する市民の関心の高まりなど、住宅を取り巻く環境が大きく変化しており、こうした課題に適切に対応することが求められている。
③効果	老朽化した既存の住宅を建替え、良好な居住水準を確保する。 また、他の住宅と集約することにより、効果的・効率的な建替えが可能となる。
④内容	住宅施策を計画的、総合的に推進するための基本となる浜田市住宅マスタープランに基づき、既存住宅の熱田、長浜、城ヶ平住宅を統合する新団地「長浜西住宅」を整備する。  施設概要 (1)敷地面積・・・約10,517㎡ (2)延べ面積(住宅棟)・・・約5,658㎡ (3)構造・・・鉄筋コンクリート造6階建 (4)全住宅戸数・・・80戸 ※うち、シルバーハウジング対応住戸18戸 (5)住戸タイプ・・・2DK(48戸)、2LDK(8戸)、3DK(8戸)、3LDK(16戸) (6)付帯施設・・・集会場、駐輪場、ごみ置き場、児童遊園エリア等 (7)その他・・・エレベーター設備、駐車場等
⑤その他	○事業スケジュール 平成23年度 基本設計 平成24年度 実施設計 平成25、26年度 建設工事 平成27年度～供用開始  

(2)他の地方公共団体の類似する政策との比較検討

--

(3)提案に至る過程における市民参加の実施の有無とその内容

市民参加の実施 <b>(有)</b> ・無
・平成24年6月に入居者説明会実施 ・平成24年6月、平成25年4月(計2回)に住民アンケート実施 ※上記はいずれも熱田、長浜、城ヶ平の入居者対象 ・平成25年10月に建設地近隣に対する工事説明会実施

(4)総合振興計画との整合性

総合振興計画上の位置づけ	リーディングプランの該当	<b>あり</b> なし	5.快適で充実した都市基盤の整備
	まちづくりの大綱	<b>V.快適で安心して暮らせるにぎわいのあるまち(建設・安全部門)</b>	
	施策大綱	<b>6.上・下水道等生活基盤の整備</b>	

(5)財源措置・将来にわたるコスト計算

単位:千円

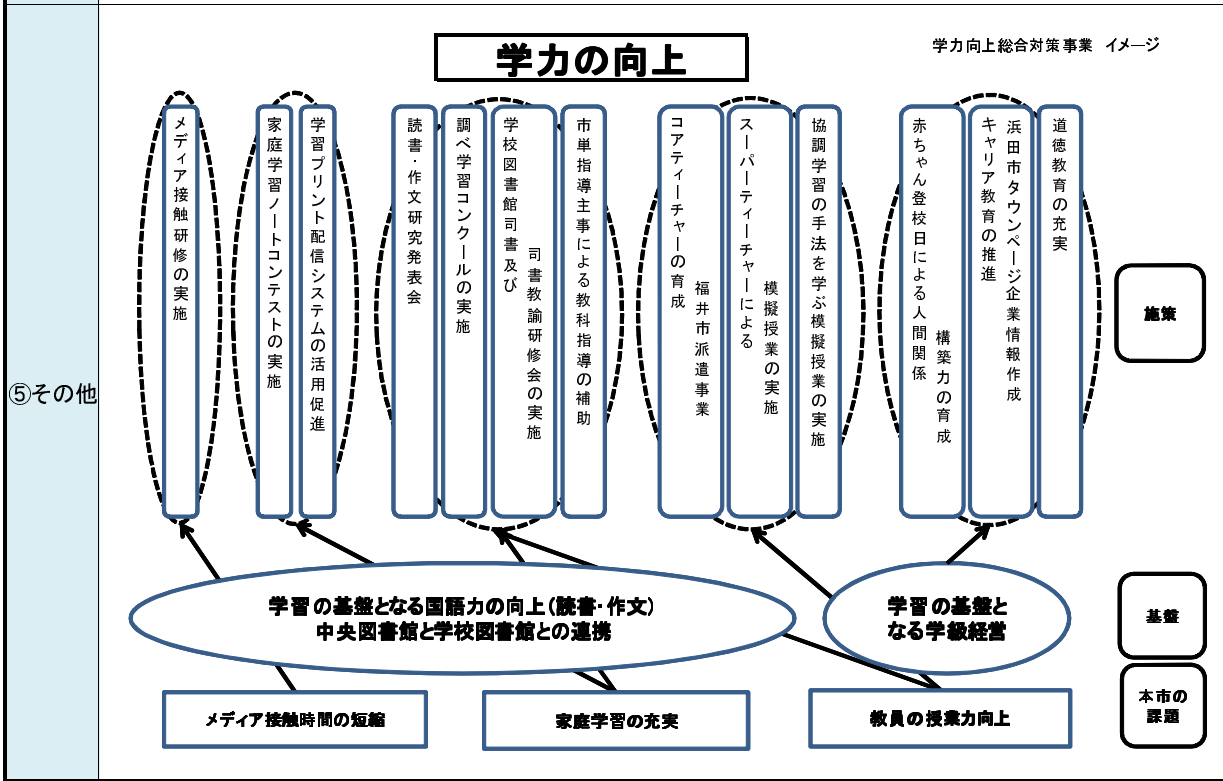
		全体計画	26年度	27年度	28年度以降
		事業費	1,520,618	1,048,566	
財源内訳	国県支出金	583,410	391,549		
	地方債(住宅債)	928,900	656,800		
	その他( )	0	0		
	一般財源	8,308	217		

新規事業等実施に伴う説明シート

事務事業名	学力向上総合対策事業	整理番号	757
事業期間		担当部・課	教育部 学校教育課
	単年度・ <b>複数年度</b>	事業区分	新規・拡充
	平成 26 年度～平成 28 年度・終期未定		政策・義務・ <b>新規</b> 投資・一般

(1) 事業の概要・全体計画等

①目的	学力向上に向けて「読書」と「作文」を中心とした国語教育の充実と、「メディア接触時間の短縮」「家庭学習の充実」「教員の国語力向上」という課題の解決による総合的な対策を推進する。
②背景	・本市の児童生徒は、県や国の学力調査等において、「家庭学習の時間が短い」、「メディア接触の時間が長い」、「記述式問題に対する無解答率が高い」といった課題がある。 ・市立中央図書館、三隅図書館ができ、今後さらに読書活動や図書館活用教育に力を入れていく必要がある。
③効果	・読書をするにより、語彙や知識が獲得できたり、想像力や感性が豊かになることが期待できる。 ・作文など書くことを通して、論理的思考や表現力を育むことが期待できるとともに、「書く」ことに対する抵抗感が少なくなるということが期待できる。 ・学力の基礎となる国語教育や本市の課題に重点的に取り組むことにより、学力の向上が期待できる。
④内容	・メディア接触短縮と適正な利用についての研修会を行う。 ・家庭学習ノートコンテストの実施や学習プリント配信システムを活用し、家庭学習への取組を充実させる。 ・図書館司書の活用促進のために市単指導主事によるサポートを行う。 ・読書後、読書ノートに記録を残すことを定着させる。 ・読書・作文研究発表会、調べ学習コンクールを行う。 ・コア(核)ティーチャーの育成・活用をしたり、スーパーティーチャーや協調学習の手法を学んだりして教師の授業力向上を図る。 ・基本的生活習慣の育成や人間関係構築力など基盤的指導を行う。



(2) 他の地方公共団体の類似する政策との比較検討

--

(3) 提案に至る過程における市民参加の実施の有無とその内容

市民参加の実施 (有・ <b>無</b> )
------------------------

(4) 総合振興計画との整合性

総合振興計画上の位置づけ	リーディングプランの該当	<b>あり</b>	6. 生きる力を育む学校教育と生涯学習の場の充実
	まちづくりの大綱	なし	
	施策大綱	2. 生きる力を育む学校教育の充実	II. 豊かな心を育む教育と文化を身近に感じるまち(教育・文化部門)

(5) 財源措置・将来にわたるコスト計算


単位: 千円

	全体計画	26年度	27年度	28年度以降
事業費	32,947	11,037	10,955	10,955
国県支出金	0	0	0	0
地方債(債)	0	0	0	0
その他( )	0	0	0	0
一般財源	32,947	11,037	10,955	10,955

新規事業等実施に伴う説明シート

事務事業名	国府小学校新築事業	整理番号	771
		担当部・課	教育部 教育総務課
事業期間	単年度・ <b>複数年度</b>	事業区分	新規・拡充
	平成23年度～平成27年度・終期未定		<b>政策</b> ・義務・新規・投資・一般

(1)事業の概要・全体計画等

①目的	市内東部に所在する上府小、国府小、有福小の校舎・屋内運動場は、老朽化が著しく耐震性も低いことから、浜田市学校統合計画に基づき、統合新設校(名称:国府小学校)を設置する。併せて、小規模校の統合により学校規模の適正化を図り、教育環境を整備する。	
②背景	学校統合計画審議会の答申を受け、平成22年7月学校統合計画策定。 計画の内容:新築の校舎を建設し、上府小学校、国府小学校、有福小学校を統合して新設校を開設する。新設校舎の位置は、現国府小学校の校地とする。	
③効果	校舎・屋内運動場を新築することにより、安全性が高く快適な教育環境を整備するとともに、災害時避難所としての機能を整える。また、小規模校の統合により児童数の増加に伴う教育効果の向上が期待できる。	
④内容	統合小学校校舎、屋内運動場の建築と校庭整備。	
⑤その他	総事業費 2,249,505千円 構造 校舎 鉄筋コンクリート造3階建 屋内運動場 鉄筋コンクリート造2階建 面積 校舎 5,028㎡(文科省基準) 屋内運動場 1,301㎡(文科省基準) 校庭 7,471㎡ (100m直線コース、150mトラック) 開校予定 平成27年4月 事業場所 浜田市下府町(現国府小学校地内)	 <p>完成イメージ</p>

(2)他の地方公共団体の類似する政策との比較検討

--

(3)提案に至る過程における市民参加の実施の有無とその内容

市民参加の実施 (有・ <b>無</b> )
------------------------

(4)総合振興計画との整合性

総合振興計画上の位置づけ	リーディングプランの該当	<b>あり</b>	6.生きる力を育む学校教育と生涯学習の場の充実
	まちづくりの大綱	なし	<b>II.豊かな心を育む教育と文化を身近に感じるまち(教育・文化部門)</b>
	施策大綱		<b>2.生きる力を育む学校教育の充実</b>

(5)財源措置・将来にわたるコスト計算

単位:千円

		全体計画	26年度	27年度	28年度以降
財源内訳	事業費	2,249,505	1,313,228	92,324	0
	国県支出金	759,820	540,257	0	0
	地方債(過疎債、合併特例債)	1,437,700	726,700	87,700	0
	その他(地域振興基金)	10,000	10,000	0	0
	一般財源	41,985	36,271	4,624	0

新規事業等実施に伴う説明シート

事務事業名	地域課題の解決支援プログラム事業	整理番号	795
		担当部・課	教育部 生涯学習課
事業期間	単年度・ <b>複数年</b>	事業区分	<b>新規</b> ・拡充
	平成26年度～平成 年度・ <b>終期未定</b>		政策・義務・ <b>新規</b> ・投資・一般

(1)事業の概要・全体計画等

①目的	浜田市における様々な課題に対し、公民館が関係諸団体等と連携・協働して課題解決のため実施する地域独自の取り組みを支援し、社会教育を活性化することを通じて、地域の絆づくり、地域コミュニティの活性化を図り、「元気な浜田」づくりの一翼を担う。 また、あわせて、公民館職員のコーディネート力及びファシリテート力のさらなるアップを図る。
②背景	・「人づくり」の拠点である公民館が培ってきた、地域の「ひと・もの・こと」を結集する。 ・市内26公民館には「地域力」を醸成するソフトウェアがある。 ・島根県の事業であった、「実証！『地域力』醸成プログラム」に20の公民館が採択された。
③効果	・市民が、消費者意識から脱却し、当事者意識を持ち、地域の課題解決、地域づくりを行う礎を築くことができる。 ・市民が地域を知り、課題解決に向けた動き出しを促進する。 ・公民館が、市民と団体等をつなぐ機能を高める。 ・職員のコーディネート能力が高まることにより、市の関係部署と住民や団体等を“むすぶ”ことで、協働によるロードマップの実現に資することも可能になる。
④内容	・地域課題の解決支援モデル事業[事業費 600,000円]・・・公民館への支援 ・公民館職員の社会教育主事資格(B講習)取得支援事業 [事業費 162,480円]・・・職員の費用弁償
⑤その他	1 地域課題の解決支援モデル事業[事業費 600,000円] ① この事業は、浜田版「実証！地域力醸成プログラム」である。 ② 次のテーマで募集し、3公民館程度をモデル館とする。 [浜田市のまちづくり支援(例)] ・活力ある産業を創造するまちづくり ⇒ 産業振興事業等 ・自然環境を活かしたうおいのあるまちづくり ⇒ 環境美化事業等 ・いきいきと元気に暮らせるまちづくり ⇒ 健康づくり事業、地域福祉事業等 ・安全・安心、快適性に優れ暮らしの活力を生むまちづくり ⇒ 安全・安心事業、子育て支援事業等 ③ 財源は、一般十地区まちづくり、社会福祉協議会等他の団体からの費用とを合算することを条件とする。 補助率1/2で一般財源の上限は1公民館20万円とする。 ④ 平成26年度は、モデル公民館3館を予定するため 20万円×3公民館=60万円である。この支援は1公民館に3ヵ年継続する。 2 公民館職員の社会教育主事資格(B講習)取得支援事業 [162,480円] ① 地域の課題を解決するには、公民館職員のスキルアップが必要不可欠である。(社会教育委員の会の提言) ② 社会教育主事の資格取得を次の4課程に分け、公民館職員の資格取得を支援する。 [費用弁償] 第1課程 浜田(5日) 9,200円×5人=46,000円 第2課程 浜田(5日) 9,200円×2人=18,400円 第3課程 出雲(1日) 11,000円×1人=11,000円 江田島(2泊3日) 26,200円×1人=26,200円 サンレイク(4泊5日) 48,000円×1人=48,000円 第4課程 浜田(1日) 12,880円×1人=12,880円

(2)他の地方公共団体の類似する政策との比較検討

■島根県 H19年度～H24年度 実証！『地域力』醸成プログラム
■文部科学省 H25年度 公民館等を中心とした社会教育 活性化支援プログラム

(3)提案に至る過程における市民参加の実施の有無とその内容

市民参加の実施 (有)・無)
浜田市社会教育委員の会から提言

(4)総合振興計画との整合性

総合振興計画上の位置づけ	リーディングプランの該当	<b>あり</b>	2.活力ある地域コミュニティの形成
	まちづくりの大綱	なし	II. 豊かな心を育む教育と文化を身近に感じるまち(教育・文化部門)
	施策大綱		1.生涯学習の推進と地域活動を担う人材の育成

(5)財源措置・将来にわたるコスト計算

		単位:千円			
財源内訳		全体計画	26年度	27年度	28年度以降
	事業費	未定	763	763	未定
	国県支出金		0	0	
	地方債(債)		0	0	
	その他( )		0	0	
	一般財源		763	763	

新規事業等実施に伴う説明シート

事務事業名	石央文化ホール開館20周年 記念事業(市民創作ミュージカル)	整理番号	819		
		担当部・課	教育部 文化振興課		
事業期間	単年度・複数年度 平成26年度～平成26年度・終期未定	事業区分	新規・拡充		
			政策・義務 新規・投資・一般		

(1) 事業の概要・全体計画等

①目的	総合舞台芸術であるミュージカルを市民参加で行うことにより、芸術文化の振興と舞台芸術の人材育成に寄与する。また、故郷の偉人である島村抱月について、再度浜田市内外の方々に広く周知する。
②背景	平成25年に芸術座創立100年を迎えたことから、石央文化ホールの岩町功顧問を会長とする芸術座創立100年委員会が東京都新宿区で立ち上げられ、記念イベントが開催された。新宿区は共催として関わっており、今後も継続してイベントを開催予定。 また、石央文化ホールが開館して20周年という記念の年でもあることから、広く市民に参加してもらえる創作ミュージカルの上演について実行委員会が組織され、企画された。
③効果	故郷の偉人である島村抱月を再認識、再評価する機会となるとともに、東京でのイベントによる交流人口の増加が期待できる。また、このイベントに関わる人々の舞台芸術(演出、運営能力、演技、歌唱など)の技術向上、レベルアップと人材育成につながる。
④内容	市民参加創作ミュージカル「島村抱月～夢・ふるさと・ドラマ～」制作、実施に対する事業費補助であり、実行委員会へ補助金を支出(2,000千円)する。 島村抱月の青年期から芸術座の立ち上げ、地方巡業、海外巡業など抱月の人生を描くミュージカル。
⑤その他	実施日 平成27年2月8日(日)2回公演  【収入】 合計6,700千円 チケット収入 2,000円×1,400人=2,800千円 寄附金・協賛金 100千円 広告料その他収入 400千円 その他補助金 独立行政法人日本芸術文化振興会1,400千円 浜田市補助金 2,000千円  【支出】 合計6,700千円 出演費(演奏料など)・音楽費(楽器借料、稽古ピアニスト料など)・文芸費(振付料、著作権使用料など) 2,240千円 設営・舞台費(傾斜舞台設営・衣裳借料ほか) 2,290千円 謝金・旅費・宣伝費(交通費、宿泊費、印刷製本費ほか) 1,590千円 ホール使用料 580千円

(2) 他の地方公共団体の類似する政策との比較検討

--

(3) 提案に至る過程における市民参加の実施の有無とその内容

市民参加の実施 (有)・無) 市内の合唱団、音楽教室、バレエ教室、演劇サークル指導者が、演出、音楽監督、指揮、ダンス振付、演奏の主要スタッフを担当することが決定している。
--

(4) 総合振興計画との整合性

総合振興計画上の位置づけ	リーディングプランの該当	あり	6. 生きる力を育む学校教育と生涯学習の場の充実
	まちづくりの大綱	なし	
	施策大綱	II. 豊かな心を育む教育と文化を身近に感じるまち(教育・文化部門) 4. 歴史・文化の伝承と地域性豊かな文化の創造	

(5) 財源措置・将来にわたるコスト計算

単位:千円

		全体計画	26年度	27年度	28年度以降
財源内訳	事業費	2,000	2,000	0	0
	国県支出金	0	0	0	0
	地方債(債)	0	0	0	0
	その他( )	0	0	0	0
一般財源		2,000	2,000	0	0

新規事業等実施に伴う説明シート

事務事業名	全国重要無形文化財保持団体 協議会浜田大会費	整理番号	820	
		担当部・課	教育部 文化振興課	
事業期間	単年度・複数年度 平成26年度～平成26年度・終期未定	事業区分	新規・拡充	
		事業区分	政策・義務・新規・投資・一般	

(1) 事業の概要・全体計画等

①目的	石州半紙・浜田市など全国の重要無形文化財保持団体と関係市町村で構成される「全国重要無形文化財保持団体協議会(全重協)」の大会と総合的な作品展示・製作実演を行う秀作展を実施し、広く一般に公開する。																		
②背景	<ul style="list-style-type: none"> <li>大会と秀作展は全国の関係市町村で巡回開催されており、平成14年に三隅町で実施している。</li> <li>三隅大会以後、石州和紙会館の開館・石州半紙のユネスコ無形文化遺産への一覧表掲載・ブータンとの紙漉きを中心とした交流など石州半紙を中心とした取り組みが拡大している。</li> </ul>																		
③効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>中四国で唯一開催される大会と秀作展で、柿右衛門・結城紬・久米島紬・輪島塗・伊勢型紙・本美濃紙など全国の伝統工芸作品を石正美術館で公開し石州和紙会館も含めた集客が期待できる。</li> <li>大会には全国の関係団体と市町村から約120人が浜田市を訪れる。</li> </ul>																		
④内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>全国重要無形文化財保持団体協議会(全重協)の大会を三隅中央会館・アクアみすみ、秀作展を石正美術館・石州和紙会館で開催する。</li> </ul>																		
⑤その他	<p>「全国重要無形文化財保持団体協議会(全重協)」 14の重要無形文化財保持団体と22の関係市町村で構成され、年1回全国で大会と秀作展を開催している。 ※保持団体: 柿右衛門、色鍋島、小鹿田焼、小千谷縮、越後上布、結城紬、久留米緋、喜如嘉の芭蕉布、宮古上布、久米島紬、伊勢型紙、輪島塗、石州半紙、本美濃紙、細川紙</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>浜田大会 大会: 平成26年10月16日(木)・17日(金) 三隅中央会館・アクアみすみ 秀作展: 平成26年10月16日(木)～11月3日(月) 石正美術館・石州和紙会館</li> <li>事業の実施概要 実行委員会(浜田市)形式 全重協事務局(茨城県結城市・持回り)負担金、国助成金(芸術文化振興基金)、開催県・市負担金で事業実施</li> </ul> <table border="0"> <tr> <td>大会</td> <td>計 1,290千円</td> </tr> <tr> <td>全重協事務局負担金・当日参加費等</td> <td>540千円</td> </tr> <tr> <td>島根県負担金</td> <td>250千円</td> </tr> <tr> <td>浜田市負担金</td> <td>500千円</td> </tr> <tr> <td>秀作展(国助成対象)</td> <td>計 5,450千円</td> </tr> <tr> <td>国助成金・全重協事務局負担金</td> <td>3,700千円</td> </tr> <tr> <td>島根県負担金</td> <td>250千円</td> </tr> <tr> <td>浜田市負担金</td> <td>1,500千円</td> </tr> <tr> <td>役員会旅費・参加費(茨城県結城市)</td> <td>250千円(浜田市負担)</td> </tr> </table>	大会	計 1,290千円	全重協事務局負担金・当日参加費等	540千円	島根県負担金	250千円	浜田市負担金	500千円	秀作展(国助成対象)	計 5,450千円	国助成金・全重協事務局負担金	3,700千円	島根県負担金	250千円	浜田市負担金	1,500千円	役員会旅費・参加費(茨城県結城市)	250千円(浜田市負担)
大会	計 1,290千円																		
全重協事務局負担金・当日参加費等	540千円																		
島根県負担金	250千円																		
浜田市負担金	500千円																		
秀作展(国助成対象)	計 5,450千円																		
国助成金・全重協事務局負担金	3,700千円																		
島根県負担金	250千円																		
浜田市負担金	1,500千円																		
役員会旅費・参加費(茨城県結城市)	250千円(浜田市負担)																		

(2) 他の地方公共団体の類似する政策との比較検討

三隅大会(平成14年度)	総計 8,778千円
大会・秀作展	
国助成金・全重協事務局負担金等	6,278千円
島根県負担金	500千円
三隅町負担金	2,000千円

(3) 提案に至る過程における市民参加の実施の有無とその内容

市民参加の実施 (有)・無)
大会と秀作展は石州半紙技術者会(4名)と石州和紙会館の意見を聞きながら内容を検討している。

(4) 総合振興計画との整合性

総合振興計画上の位置づけ	リーディングプランの該当	あり	6. 生きる力を育む学校教育と生涯学習の場の充実
	まちづくりの大綱	なし	II. 豊かな心を育む教育と文化を身近に感じるまち(教育・文化部門)
	施策大綱		4. 歴史・文化の伝承と地域性豊かな文化の創造

(5) 財源措置・将来にわたるコスト計算

		単位: 千円			
財源内訳		全体計画	26年度	27年度	28年度以降
	事業費	2,250	2,250	0	0
	国県支出金	0	0	0	0
	地方債(債)	0	0	0	0
	その他( )	0	0	0	0
	一般財源	2,250	2,250	0	0